

お金を借りる、お金を返す



Q お金を借りることは絶対にダメですか？

A 貯蓄がない場合や貯蓄を取り崩したくない場合、お金を一時的に借りるという選択肢があります。クレジットカードやローンは借金と同じなので、便利な反面、注意も必要。よく理解した上で、上手に付き合ひましょう。

▶ 「クレジットカード」の利用は、信用をなくさずに

財布に現金がないときでも、銀行口座に残高がないときでも、クレジットカードを使うと買い物ができます。とても便利な手段ですが、これは短期間カード会社に借金をしていることとなります。当然、その返済ができなければ、カード会社からの信用が失われて、それ以降は利用できなくなります。毎月上限を決めるなど、返済を前提にしていることを忘れずに使うようにしましょう。

クレジットカードで買い物をする場合、①一括払い、②分割払い、③リボルビング払いの3通りから返済プランを選択できます。**一括払い以外は金利や手数料が発生**しますので、しっかり確認してから利用しましょう。

! クレジットカードの返済方法の違い

◆一括払い

クレジットカード利用後の支払いを一回で済ませる方法。金利や手数料はかかりませんが、返済額が高額になる場合もあるので、必ず返済計画を確認しましょう。

◆リボルビング払い

一定の利用限度額を設定し、その範囲内で5,000円や10,000円などあらかじめ設定した金額を分割して支払う方法。クレジットカードの利用を続けると元金が減らず、返済が終わらないので注意が必要です。

※一定の利用限度額を設定し、その範囲内でお金を引き出すことができるキャッシング機能もあります。借入れを行うことになるため、金利の支払いが発生します。

▶ 注意が必要な「消費者金融」と「多重債務」

クレジットカードのキャッシング以外にもお金を借りる方法があります。それが、消費者金融と呼ばれる金融業者などからの借入れです。簡単な審査でお金を借りられますが、**銀行などで借る場合よりも金利が高い**ことが多く、後々の支払いが大変になります。簡単に借りられるので、借金を返済するためにさらに借金をする人が増えています。このような状況にある人を「多重債務者」と呼びます。多重債務

者になると、仕事にも影響し、精神的にも追いつめられたりするので、安易な借入れをしないなど、事前の予防が大切になります。また、支払いが難しくなりそうな場合には、家族や相談窓口(P38参照)に連絡しましょう。

! お金を借りる際に注意するポイント

借金は極力控えるべきですが、お金を借りざるを得ないケースに直面するかもしれません。その場合の注意点として、「金融会社ごとの比較」があります。銀行や消費者金融が設定する貸出金利は一定でなく、貸し付け上限や貸付期間などの貸し付け条件も会社によってさまざまです。借入れの際は、必ず金利や貸し付け条件を比較検討するようにしましょう。そうすることで、冷静に考える時間も確保できます。

! 返済可能な範囲で借り、必ず返済する

お金を借りたら返済する必要があります。当たり前のように、このルールが守れない人が、世の中には大勢います。理由として金利の高さなどもありますが、そもそもお金を借りることを簡単に考えている人が多いようです。

借金を返せない場合、一般的には財産を差し押さえるなどして相殺させるような手続きが取られますが、消費者金融で無担保、無保証人により借りた場合、返済は自分自身で行わなければなりません。返済できない場合は、金利以外にも損害賠償に相当する金額が上乘せされて、返済が一層困難になります。さらに、信用情報の管理機関に情報が登録され、その後の借入れも難しくなります。借入れは、必ず返済可能な範囲で行うようにしましょう。

◆担保

借金を返済できなかったとき、代わりに差し入れた財産を処分して返済に充てることを意味し、借入時の条件として要求されることがあります。消費者金融では、基本的に無担保でお金を借りられる代わりに、高い金利を支払うことになります。

◆連帯保証人

借入時に設定すると、実質的に債務者(お金を借りた人)と同じ責任を負うことになり、債務者の返済状況によっては、連帯保証人にいきなり返済が求められることもあります。消費者金融では不要な場合が多いものの、借入れ条件として設定される場合もあります。連帯保証人にはならないこと、連帯保証人に迷惑をかけないことを肝に銘じましょう。

! 奨学金も、しっかりと返還すること

貸与型の奨学金は、消費者金融などと比べて安心安全なイメージがありますが、借入れしていることには変わりはありません。最近は奨学金の返済が滞るケースも見受けられますが、そのような場合も、信用情報を管理する機関に情報が登録されることとなります。一度登録されると、一定期間抹消されないため、自動車ローンや住宅ローンなども組みにくくなってしまいます。借入れの資金使途にかかわらず、返済は確実に行うようにしましょう。



ワンポイント講座

クレジットカードで買い物をするときは、「消費と貯蓄・投資」で学んだ「二一五」と「ウォンツ」を考えると、無駄遣いが減らせます。本当に必要なものかどうか、今買う必要があるかどうかを、しっかりと考えましょう。

ライフプランを描いてみる

給与明細書・源泉徴収票の見方

消費と貯蓄・投資

お金を借りる、お金を返す

コラム1 インターネットを活用したパーソナルファイナンス

コラム2 消費者トラブルに遭わないために

公的保険と民間保険・共済商品

公的年金とリタイアメントプランニング

コラム3 金融経済の基本を理解する

ライフイベント表・キャッシュフロー表を作成する

みんなのトーク

クレジットカードを自在に使えると、オトナって感じよね。

多重債務者のドキュメンタリー見た、超コワイ...

35年の住宅ローン組むのも、けっこうドキドキだぜ

いやいや、攻めなきゃ! 低金利だから、今がチャンスだって

奨学金の返済もあるからなー、そのおかげで今があるんだけど